

個人 10分

【学習のねらい】

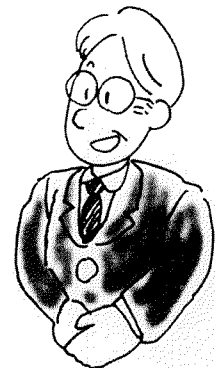
自分の中にある先入観や思い込みに気づく。

【準備するもの】

「会長体験記」のワークシート。

【進め方】

- (1) 記事を配り、ファシリテーターが読む。(約2分間)
- (2) このPTA会長はどんな人か、イメージをふくらめるために、以下のような問いを出し、ワークシートに記入してもらう。
 - ① 何歳ぐらいの人か。
 - ② 身長はどのくらいか。
 - ③ 職業は何か。
 - ④ 好きな色は何か。
 - ⑤ 会長さんはどんな髪型か。(イラストで描いても良い)
- (3) PTA会長のイメージを隣の人と比べ合う。
- (4) ワークシート左上の梅のイラストのところに、次のように言葉があったことを知らせ思い込みについて考え合う。



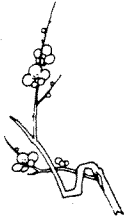
ちなみに、来年度も会長を引き受けたことを、夫や子どもはまだ知らない。

「あるPTA会長の日記から」

二月十八日(水)

来年度の本部役員の推薦が決まった。初めてPTA会長を受けたときはちょっとスリルがあった。「清水の舞台から飛び降りるつもりで」などといったのだが、一年たつと何とか助け合っでできるものだと実感できた。

子ども、先生、保護者の立場を思いやる気持ちがあれば前向きに考えられる気がする。でも本音の部分では、あと一年と思うとちょっと気が重いときもある。



二月十九日(木)

新入生保護者会でPTA

Aの説明をする。自身も二度参加して話を聞いているはずなのだが全く印象がない。ちょっと悲しいなと思

いながら説明を終えた。PTAと言うだけで尻込みを

してしまふ人の何と多い事か。子育てに悩みながら子のため、自分自身のため

会長体験記

挨拶は一番のプレッシャー

に一生懸命活動をしている会員を代表して、どこまでPTAを理解してもらえたのだろうか。参加者の中に「あなた会長だったのね」とびっくりした顔で見ている近所の人に会って少し照れてしまった。

三月七日(土)

近隣八校の小中学校で組織されている協議会があった。いつもその場で挨拶をするが、これが私には一番のプレッシャーになる。難しい挨拶の言葉は知らないし、と

いってあまりに柔らかく

なると何となくその場で浮いている自分を感じる。周りの人達が暖かい目で応援してくれるのがうれしいやら恥ずかしいやらで困ってしまう。この一年は挨拶との戦いだった気がする。それなのにしゃべりだすと最近どうも話が長くなっている自分に気がついてい

る。挨拶は簡潔に。中学生のナイフに関係した事件が世間を賑わしている。校区の中学校の卒業式に列席した。驚くほど大人びて見える彼らの卒業の歌の素晴らしさに思わず聞き惚れてしまった。別れの歌に涙ぐむ女子生徒を見ながら自分自身の中学時代の卒業式を思い出していた。

H10.3.31 日本PTA新聞

- ①
②
③
④
⑤